**調査結果の概要**

**概況**

**１　２年目を迎えた「幼保連携型認定こども園」**

園数、園児数ともに大阪府は全国最多

**（１）園数の全国比較**

　　　

・全国総数は2,822園で、1年で879園増加している

・大阪府は331園で、全国で最も多い園数となっている

**（２）園児数**

****



園児数　内訳

１号認定：満３歳以上の就学前の子ども（２号認定を除く）

２号認定：満３歳以上の就学前の子どもで、保護者の労働や疾病等により保育を必要とする子ども

３号認定：満３歳未満で保護者の労働や疾病等により保育を必要とする子ども

・年齢別では、4歳児が最も多く、次いで5歳児、3歳児となっている

・認定号数別では2号認定が最も多く、次いで3号認定となっており、

保育が必要なものが全体の74.4％を占めている

・1学級当たりの在園者数（3から5歳児）は23.7人となっている

・教育・保育職員（本務者）1人当たりの在園者数（0から5歳児）は6.6人となっている

**（３）前年度との比較**



・年齢別の増加率は、2歳児37.1％が最も多く、次いで1歳児32.4％、0歳児27.7％の順となっている



・認定号別の増加率は、3号認定33.6％が最も多く、次いで2号認定29.7％、1号認定16.7％となっている

**２　学校数の推移**

幼保連携型認定こども園への移行により幼稚園数が減少

**（１）学校数の推移**



・幼稚園は679園で、前年度より14園減少（32年連続減少）

・幼保連携型認定こども園は331園で、前年度より72園増加

・小学校は1,015校で、前年度より12校減少（６年連続減少）

・中学校は528校で、前年度より3校減少（２年連続減少）

・高等学校（全日制・定時制）は257校で前年度と同数

**（２）公立・私立別、学校種別の学校増減数**



・公立は、幼稚園が38園、小学校が24校、中学校が3校、高等学校（全日制・定時制）が4校の減少

・私立は、幼稚園が63園、中学校が1校減少し、小学校、高等学校（全日制・定時制）は増減なし

**３　在学者数の推移**

高等学校（全日制・定時制）は９年ぶりに減少

**（１）在学者数の推移**



・幼稚園は97,597人で、前年度より4,498人減少（ピーク時 昭和52年度211,460人の46.2％）

・幼保連携型認定こども園は53,496人で、前年度より11,445人増加

・小学校は444,586人で、前年度より5,341人減少（ピーク時 昭和55年度921,519人の48.2％）

・中学校は238,200人で、前年度より6,505人減少（ピーク時 昭和61年度460,931人の51.7％）

・高等学校（全日制・定時制）は235,580人で、前年度より1,120人減少

（ピーク時 平成元年度426,706人の55.2％）

**（２）１学級当たりの在学者数の推移**



・幼稚園は24.4人で、前年度より0.2人減少（4年連続減少）

・幼保連携型認定こども園（３から５歳児）は23.7人で、前年度より0.8人増加

・小学校は24.3人で、前年度より0.3人減少（37年連続減少） (\*)

・中学校は29.0人で、前年度より0.3人減少（11年連続減少）

(\*)3ページ｢利用上の注意｣を参照

**４　教員数（本務者）の推移**

小学校・高等学校（全日制・定時制）は増加傾向

**（１）教員数（本務者）の推移**



・幼稚園は6,741人で、前年度より17人減少（4年連続減少）

・幼保連携型認定こども園は8,133人で、前年度より2,211人増加

・小学校は27,493人で、前年度より57人増加（4年連続増加）

・中学校は16,943人で、前年度より143人減少（11年ぶりに減少）

・高等学校（全日制・定時制）は15,117人で、前年度より49人増加（３年連続増加）

**（２）教員（本務者）１人当たりの在学者数の推移**

　　

・幼稚園は14.5人で、前年度より0.6人減少（13年連続減少）

・幼保連携型認定こども園は6.6人で、前年度より0.5人減少

・小学校は16.2人で、前年度より0.2人減少（16年連続減少）

・中学校は14.1人で、前年度より0.3人減少（7年連続減少）（\*）

・高等学校（全日制・定時制）は15.6人で、前年度より0.1人減少(２年連続減少)

(\*)3ページ｢利用上の注意｣を参照

**（３）女性教員（本務者）及び女性管理職（\*1）の割合の推移**





・幼稚園は、総数に占める割合、管理職に占める割合ともに10年でほぼ横ばい

・小学校は、総数に占める割合は10年で4.7ポイント低下、

管理職に占める割合は10年で6.4ポイント上昇

・中学校は、総数に占める割合は10年で0.8ポイント上昇、

　管理職に占める割合は10年で0.9ポイント上昇(\*2)

・高等学校（全日制・定時制）は、総数に占める割合は10年で4.5ポイント上昇、

管理職に占める割合は10年で1.9ポイント上昇

(\*1)・管理職とは、教員のうち校（園）長、副校（園）長、教頭のことを示す

・「総数に占める割合」　＝　教員数（女性）／ 教員数（男女計）で算出

・「管理職に占める割合」＝　管理職の数（女性）／ 管理職の数（男女計）で算出

(\*2)3ページ｢利用上の注意｣を参照

**５　公立・私立別入学状況の推移**

**（１）入学定員・入学志願者数・入学者数の推移（高等学校（全日制・定時制））**

****

**（２）入学者のうち私立への入学者の占める割合の推移（高等学校（全日制・定時制））**



・大阪府は40.8％で、平成23年度以降6年連続40％を越えている

・大阪府は全国平均を8.8ポイント上回る

・都道府県別では東京都が最も高く、京都府、福岡県と続き、大阪府は4番目となっている

**６　中学校の卒業後の状況**

進学率は98.3％で過去最高

　卒業者に占める就職者の割合は0.3％で過去最低

**（１）卒業者数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移**



・卒業者は82,869人で2年連続減少（ピーク時 昭和63年度153,542人の54.0％）

・進学率は98.3％で前年より0.2ポイント上昇（過去最高）　(\*)

・卒業者に占める就職者の割合は0.3％（過去最低）

（\*）3ページ「利用上の注意」を参照

**（２）全国平均との比較**



・進学率は、全国平均の98.7％より0.4ポイント低く、全国で38番目

・卒業者に占める就職者の割合は、全国平均の0.3％と同程度で、全国で20番目

**７　高等学校（全日制・定時制）の卒業後の状況**

　大学等への進学率は60.5％で過去最高

**（１）卒業者数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移**



・卒業者は74,413人で2年連続増加（ピーク時 平成3年度135,563人の54.9％）

・大学等への進学率は60.5％で前年より1.1ポイント上昇（過去最高）

・専修学校（専門課程）への進学率は14.7％で前年より0.4ポイント低下

・卒業者に占める就職者の割合は11.6％で、前年より0.1ポイント低下

　**（２）全国平均との比較**



・大学等への進学率は、全国平均の54.7％より

5.8ポイント高く、全国 で5番目

・卒業者に占める就職者の割合は、全国平均の17.9％より

6.3ポイント低く、全国で44番目

・卒業者に占める就職者の割合のうち

正規雇用の割合は11.5％、非正規雇用は0.1％となり、

　正規雇用は全国平均の17.7％より、6.3ポイント低い (\*)

 (\*)3ページ｢利用上の注意｣を参照

**８　特別支援学校**

学校数、在学者数、教員数（本務者）ともに過去最高

**（１）学校数・在学者数・教員数（本務者）の推移**

****

・学校数は51校で前年度と同数

・在学者数は9,215人で前年度より168人増加（20年連続増加）

・教員（本務者）は、5,321人で152人増加（27年連続増加）

**（２）部別在学者数の推移**

****

・幼稚部の在学者数は、102人で前年度より3人減少

・小学部の在学者数は、2,206人で前年度より112人増加

・中学部の在学者数は、2,612人で前年度より19人増加

・高等部の在学者数は、4,295人で前年度より40人増加

**９　専修学校・各種学校**

　各種学校の学校数は昭和51年度から減少傾向

　専修学校の生徒数は5年連続増加

**（１）学校数及び生徒数の推移**



・専修学校の学校数は224校で、前年度より4校減少

・専修学校の生徒数は71,912人で、前年度より1,133人増加（5年連続増加）

・各種学校の学校数は44校で、前年度より2校減少（昭和51年度から減少傾向）

・各種学校の生徒数は10,641人で、前年度より240人増加（3年ぶりに増加）

**（２）分野別構成比の全国平均との比較**



・専修学校生徒数の分野別構成比は、「医療関係」が全国平均を4.7ポイント下回っており、

「文化・教養関係」では4.7ポイント上回っている

・各種学校生徒数では、「予備校」が全国平均を36.2ポイント上回っており(\*)、

　「外国人学校」では1.8ポイント上回っている

(\*)3ページ｢利用上の注意｣を参照